

## 1. <施策の概要>

基本理念	快適な暮らしを支える充実した居住環境のまちづくり	統括課	事業部 都市整備課
基本方針	基盤整備(その他)		
施策名	住環境整備	関連課	
方針・目標等	◆新たな都市空間と住環境の整備。		
実施内容	◆都市拠点となる狛田駅周辺整備。 ◆町の中心地・学研都市の玄関口としての新祝園駅・祝園駅のバリアフリー化。		

## 2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績	年度			
①	○ 狛田駅東特定土地区画整理事業の進捗率	%					事業進捗率	
②	住民一名あたり公園面積	m <sup>2</sup>	府内市町村平均	7.16	22		公園面積/人口 (都市公園)	
③	鉄道駅周辺のバリアフリー化率	%					JR祝園駅	
④								
⑤								
			H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(試算)	H25(試算)
①	目標		6.75	12.40	25.94	46.92	71.51	94.86
	実績		6.75	13.01	24.57	34.02		
②	目標		10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績		11.6	11.5	11.3	11.3		
③	目標		100	100	100	100	100	100
	実績		82.5	82.5	82.5	82.5		
④	目標							
	実績							
⑤	目標							
	実績							

### 3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・町の北部拠点整備として推進している狛田駅東特定土地区画整理事業が、平成23年度は国庫補助金が要望どおりに配分されなかったため、今後事業計画の延長も検討する必要がある。 ・公園は、まちの構成要素として、住みやすさ・楽しさ・安全性などの魅力を演出するもので、住民1名あたりの公園面積は具体的には、「都市防災」、「都市環境の保全・改善」、「都市景観」、「健康・文化・交流・レクリエーション空間」、「精神的充足」等の充実度の指針として読み取れる。 ・鉄道駅周辺のバリアフリー化率は、平成32年度までに誰もが公共交通機関を利用し、安全、快適に目的地に移動することができるよう、鉄道事業者と協議していく必要がある。

### 3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・昨今の経済情勢の影響を受けて学研都市の南田辺・狛田地区の開発が遅れている。今後の狛田、南田辺地区の開発動向を見通す中で駅周辺の整備計画の策定が必要となる。  
 ・大規模な市街地整備が進まない昨今にあっては、身近な都市緑地(神社周辺)の保全や児童遊園等の適正な管理が重要となってくる。  
 ・さらなるバリアフリー化を推進する為には、バリアフリー基本構想等の策定を通じた関係機関や地域住民の合意形成が有効と思われる。

4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 /事業名 /種別/決算書説明頁	事業費(人件費含む)/事業費のみ/事業費一財 <単位:千円>					
		H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(予算)	H25(試算)
1	都市整備課	-	2,124	2,713	3,171	3,314	3,534
	まちづくり条例に基づく補助金	447	445	505	517	660	880
	一般事業 197	-	445	505	517	660	880
2	都市整備課	-	19,812	123,996	177,152	148,953	186,099
	狛田駅東特定土地区画整理事業(単独分)	10,164	16,761	120,486	172,053	143,854	181,000
	投資的事業 201	-	0	0	0	0	0
3	都市整備課	-	185,124	265,399	159,785	199,118	334,118
	狛田駅東特定土地区画整理事業(交付金分)	28,839	160,782	245,700	135,667	175,000	310,000
	投資的事業 203	-	96,382	140,700	6,150	104,130	0
4	都市整備課	-	2,500	1,419	1,485	1,500	8,974
	菅井西・植田南整備事業	29	13	9	11	26	7,500
	一般事業 203	-	13	9	11	26	7,500
5	都市整備課	-	8,840	35,626	23,243	-	-
	狛田駅東特定土地区画整理事業(交付金分)(繰越明許)	-	7,161	29,218	15,300	-	-
	投資的事業 203	-	3,939	16,070	0	-	-
6	都市整備課	-	2,656	6,293	4,556	2,666	2,666
	祝園駅中地区整備検討	17	9	3,686	1,902	12	12
	一般事業 197	-	9	1,848	957	12	12
7	都市整備課	-	3,259	2,253	2,273	2,314	2,314
	違反広告物除却事業	6	45	45	9	50	50
	一般事業 197	-	29	45	9	50	50
8	都市整備課	-	1,229	1,428	2,269	-	-
	公園事務費	35	35	18	15	-	-
	一般事業 199	-	35	18	15	-	-
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・狛田駅東特定土地区画整理事業は、承認されている事業実施計画に基づき事業を推進しており、狛田駅東・駅西地区については、学研都市の南田辺・狛田地区の開発の動向や狛田地域まちづくり基本構想を踏まえて、検討していく必要がある。・祝園駅中地区及び菅井西・植田南地区の整備については、町の賑わいや活性化と住環境の整備ということで、組合施行での土地区画整理事業や再開発事業等で検討されており、今後、事業計画の検討や地権者の合意形成などが必要である。・まちづくり条例に基づく補助金交付により、地域毎の課題解決に向けた協議会活動が活発に行われ、多くの成果を上げているが、協議会の認定を得るには相当な活動が必要であり、新たな協議会の設立が叶っていない。

5. <施策の今後の方向性>

・狛田駅周辺整備については、学研都市の南田辺・狛田地区の開発の動向や狛田地域まちづくり基本構想を踏まえて、今後改定予定の町総合計画と都市計画マスタープランで具体的な内容を検討していく。・祝園駅中地区及び菅井西・植田南地区の整備については、町の賑わいや活性化と住環境の整備ということで、組合施行での土地区画整理事業や再開発事業等で検討されており、祝園駅中地区は景気低迷による保留床の処分価格が不透明であり、事業計画の成立性を再検討する必要がある。今後、菅井西・植田南地区については、アンケート調査結果を踏まえて区域等の検討を行い再事業化を目指す。・まちづくり協議会の活動団体が増えることは、団体相互の刺激となるものと思われ、協議会立ち上げを支援する為の単年度補助など新たな補助メニューの検討が必要と思われる。